

さいたま市立本太中学校のテニスコートと武道場の活用試行結果

- さいたま市立本太中学校において、平日の授業時間中に、テニスコートと武道場について、地域スポーツクラブが運営主体となり、地域住民による利用を試行した。その結果、テニスコートは十分に活用可能であり、武道場については課題が多いことがわかった。また、地域の利用を促進するためには、運営管理拠点が敷地内にあることが望ましいと考えられた。

事業の趣旨

- 授業で用いることが少ない施設の運営管理を地域スポーツ団体が担うことで、地域住民の利用促進を図ることの有効性と可能性等を確認していくことを目的として、以下に取組みました。
 - ① 武道場、テニスコートの授業時間中の利用
 - ② 武道場への暖房器具の設置（冬期における利用環境の改善）
 - ③ 誰でも予約をしやすいWebを利用した予約システムの導入

事業の概要

(1) 検討会の設置

- 学校とクラブに加えて、今後の制度化を目指して市スポーツ振興課、教育委員会もメンバーに加えた。

(2) 武道場の活用

- 平日の授業時間中に、武道場においてフィットネスプログラムを提供し、ワンコイン（500円）で事前予約不要で参加者を募りました

(3) テニスコートの活用

- 1面をクラブコーチによるレッスンを1,000円で行えるようにしました。もう1面は、500円で面貸しとした。



(4) 広報誌の配布

- 参加者募集のためのスケジュールおよび事業の趣旨等をPRするための広報誌を作成し、地域に約2万部配布した。

事業の成果

- ① テニスコート：授業で用いることがなく、校舎から離れているテニスコートの活用は、学校、クラブ側とも大きな支障はなかった。また周辺からの苦情もないことから、活用の可能性は大きいことがわかった。「面貸し」形式では運営経費がまかなえないことから、教室運営を行うことが持続的運営に有効であることが示された。
- ② 武道場：授業に加えて学年集会などでも利用されることがある武道場については、利用調整の上で学校側に負担がかかることともに、運営側でもプログラム決定が遅くなり課題が大きくなることがわかった。このため、地域による利活用は、平日授業時間内には難しいものと推察された
- ③ 周辺住民や利用者意見：利用者には概ね好評で継続を望む意見が9割以上となった。学校と地域の交流のきっかけとして望ましいとの意見が聞かれた。
- ④ 市民のスポーツに親しむ場としては、施設の質が高くないことが明らかとなり、改修等にあわせて改善していくことが望まれた。生徒のスポーツ環境の改善と同時に、防災拠点としての質を高めることが期待された。

今後の展望

- 運営上大きな支障のなかったテニスコートについては、早期に仕組として定着できるように取組んでいくこととしている。
- 学校リフレッシュ工事などにあわせて、地域利用を見据えた改修を盛り込めるように提案をしていく。
- 部活動の地域連携にむけて、学校施設の有効活用方策の検討につなげていく。